

鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成29年3月

近隣地域からの侵入で広がりました。鹿児島県では一般防除種に指定され、県本土各地、徳之島で確認されています。在来植物の駆逐の影響が確認されています。自己の管理地に生えている場合は、できれば刈り取り、抜き取りなどにより除去しましょう。

1 基本情報

分類

目・科名	キク科	
種名(亜種名)	セイタカアワダチソウ	
学名	<i>Solidago altissima</i>	
環境省カテゴリー	重点対策外来種	
県カテゴリー	一般防除種	
由来	国外由来外来種	
侵略的外来種番付表	前頭(本土)	
番付表掲載の理由	知名度の高い外来種	
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的ワースト100)	日本の侵略的外来種ワースト100	
侵入・定着の状況		
自然分布域	北米	
県内初報告	不明	
県内への侵入の経緯	栽培逸出、近隣地域などからの侵入	
県内の侵入分布	県本土各地、徳之島	
全国の侵入分布	ほぼ全国	
生態学的特性		
生態	粒経の細かいシルトから粘土質の土壤に繁茂する。耐乾性がある。蜂蜜の供給源、鳥類などの生息環境を提供。	
形態	高さ0.5～3.0mの多年生草本。 茎は紫褐色を帯びている。葉は細長い楕円形で無柄、低い鋸歯がある。葉、茎ともに短毛が密生している。多数の黄色い頭状花をつける。	
繁殖形態	繁殖期は8～11月。 頭状花、虫媒花。地下茎により繁殖。	
生息環境	温帯の河川敷、土手、荒地、原野、休耕地、道端。	
特記事項	—	

2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①在来植物を駆逐。生態系に影響(多種を被陰)。 ③花粉症による人への健康被害のおそれがある。
県内で特に予想される被害	県内の在来植物を駆逐。
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①在来植物を駆逐。 ②栽培していたものの逸出。
3 対策	
セイタカアワダチソウを見つけたら	自己の管理地に生えている場合は、できれば刈り取り、抜き取りなどにより除去しましょう。
見分け方	セイタカアワダチソウの茎や葉には短毛が多く、ざらつくが、類似種であるアキノキリンソウには短毛はあるが、茎の上部に生える。
見かけやすい場所・時間	河川敷、土手、荒地、原野、休耕地、道端。
防除方法	刈り取りや抜き取りによる防除。
防除の取組事例	新潟県長岡市や阿賀野市ではホームページにセイタカアワダチソウについてのサイトを作成している。
その他	1970年頃より刈り取り、1980年頃から植物遷移の進行に伴いオギ、ススキと交替か。天敵昆虫や病原体の増加でやや衰退している可能性もある。
参考資料・参考URL	国立研究開発法人国立環境研究所 侵入生物データベース https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/80600.html Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会 http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/ 長岡市ホームページ セイタカアワダチソウの拡大を防ぎましょう http://www.city.nagaoka.niigata.jp/kurashi/cate09/doubutu/seitaka-awadatisou.html 阿賀野市ホームページ セイタカアワダチソウに注意しましょう http://www.city.agano.niigata.jp/soshiki/seikatsu/8493.html